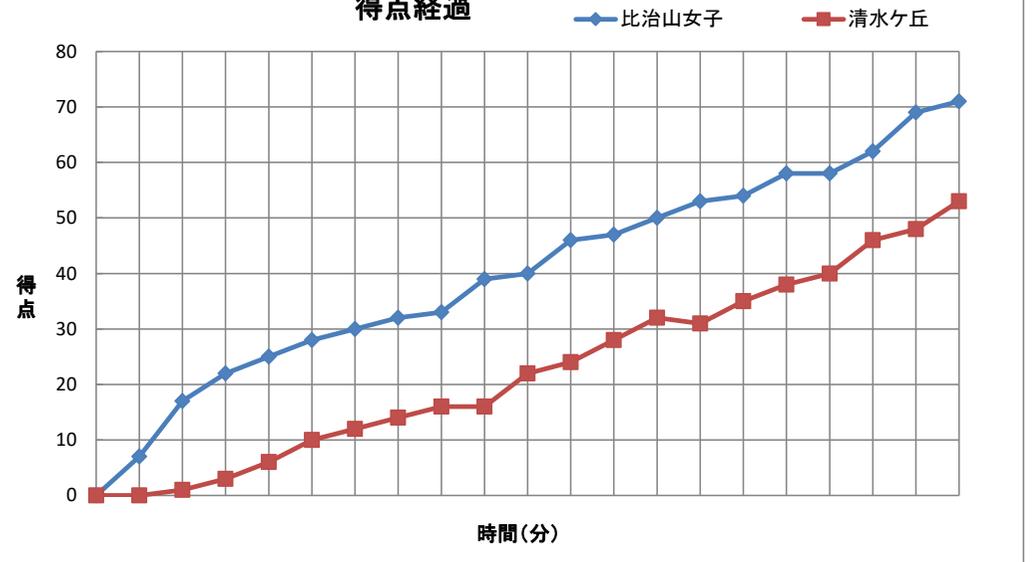




個人トータル表

<b>女子</b>		令和7年6月1日 12:30 開始													
<b>決勝</b>		IHIアリーナ呉 J													
◎ 比治山女子 (広島県)	71	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>28</td><td>1st</td><td>10</td></tr> <tr><td>12</td><td>2nd</td><td>12</td></tr> <tr><td>14</td><td>3rd</td><td>13</td></tr> <tr><td>17</td><td>4th</td><td>18</td></tr> </table>	28	1st	10	12	2nd	12	14	3rd	13	17	4th	18	53 清水ヶ丘 (広島県)
28	1st	10													
12	2nd	12													
14	3rd	13													
17	4th	18													
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則		
* 4	高島 彩菜	28	2	9	4	0	2	下青木 菜愛	-	-	-	-	-		
5	横田 栞奈	0	0	0	0	0	3	大原 奏愛	-	-	-	-	-		
* 6	随行 莉咲	8	0	4	0	2	5	山根 咲笑	-	-	-	-	-		
7	秋田 光梨	-	-	-	-	-	* 8	木村 歌歩	27	0	13	1	2		
8	平野 葵瑚	4	0	1	2	0	9	川 畑 恵	-	-	-	-	-		
* 9	竹本 明衣	4	0	2	0	1	10	黒川 愛希	-	-	-	-	-		
* 10	佐古みのり	15	3	3	0	1	11	山本 小桜	-	-	-	-	-		
* 11	大成 彩紫	9	2	1	1	1	15	井澤 菜乃	6	1	1	1	2		
12	高井 杏菜	3	1	0	0	2	* 16	小川 朝妃	0	0	0	0	2		
13	尾上ことは	0	0	0	0	1	* 17	玉守 朱鯉	2	0	1	0	2		
14	銭谷 菜月	-	-	-	-	-	19	平川 紗蘭	-	-	-	-	-		
15	山村 柚子	-	-	-	-	-	21	川原 希海	-	-	-	-	-		
16	長原 そら	-	-	-	-	-	* 22	松原 瀬菜	7	0	1	5	4		
17	行友 彩月	0	0	0	0	1	* 24	永川 里桜	11	0	5	1	2		
18	大谷 爽雅	-	-	-	-	-	28	木村 美咲	-	-	-	-	-		
コーチ	寺 廻 唯					0	コーチ	小原 健太					0		
Aコーチ	谷口 未聡						Aコーチ	大久保 忠雅							
合計		71	8	20	7	9	合計		53	1	21	8	14		
主審: 市川雄介															
副審: 津田弥子															
副審: 三島彩															

得点経過



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	19:29	:	38:47	39:48	:	:	:	:
TeamB	2:36	:	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕比治山女子VS清水ヶ丘  
 スタート 比治山女子#4#6#9#10#11 清水ヶ丘#8#15#16#22#24  
 広島県高校総体女子決勝は、2連覇を目指す比治山女子高校と初優勝を狙う清水ヶ丘高校の対戦となった。  
 1Q お互いにハーフコートマンツーマンで試合がスタート。比治山女子は、#10の連続得点と#6のジャンプシュートで試合序盤得点を重ねる。清水ヶ丘は、得意の3Pシュートで流れを作ろうとするが、比治山女子の勢いが止まらない。タイムアウトで流れを切ろうとするが、タイムアウト明け比治山女子の#11が3Pシュートを沈め、流れを渡さない。残り3分、清水ヶ丘は#8のドライブや#24のリバウンドシュートから得点したものの、28-10で1ピリ終了。  
 2Q 清水ヶ丘は#8を起点とした攻めで反撃を試みる。#17のルーズボールやリバウンドで繋ぐも、得点に繋げることができない。比治山女子は、#4の落ち着いたオフェンスでゲームを組み立てる。ディフェンスでは、激しくも球際で一切妥協することなく清水ヶ丘の得意とする3Pを封じる。清水ヶ丘は、リズムに乗り切れない中でも、攻撃の糸口を探り続ける。お互い激しい攻防が続き、40-22で前半終了。  
 3Q 比治山女子#4のフリースローで得点し、後半が始まる。その後も#4が3連続得点し、点差を広げる。対する清水ヶ丘は、#8も負けじと3連続得点をする。主導権をめぐる攻防は、終始激しくお互い譲らない。どちらかが得点を許しても、即座に取り返す緊迫した攻防戦で、点差は終始動くことなく、54-35で3ピリ終了。  
 4Q 比治山女子は、確実に#4#6が中間ショットを決め得点を重ねる。清水ヶ丘は、激しいディフェンスから相手のミスを誘う。攻撃が停滞する中でも、#8の力強いポストプレーで得点する。しかし、比治山女子の確実なディフェンスと多彩な合わせから点差が縮まらない。清水ヶ丘は、反撃を試みて前からプレッシャーをかけるが、比治山女子の落ち着いたボール運びで思うようにはまらない。  
 序盤に奪ったリードを守りきり、71-53と激しい攻防を制した比治山女子が2年連続優勝を果たした。敗れたものの、最後まで諦めることなくチーム一丸で戦い切った清水ヶ丘には拍手を送りたい。勝利した比治山女子は、持ち味の粘り強いディフェンスとチームオフェンスで岡山県で行われるインターハイでの活躍を期待したい。

戦評: 竹内優香

記録: